防災について調べよう

行ってみよう学べる防災センター

*休館日などは変更する場合があるので ホームページなどで確認してください。



地震や津波などの災害時の対処法を体感しながら学ぶことができる

気象庁 気象科学館

❶ 災害ポイントウォッチャー

災害に遭遇した時、どのような行動や場所が安全か、クイズ形式で学ぶ ことができる。

② 緊急地震速報トライアル

緊急地震速報のしくみや速報が出た時に取るべき行動について学べる。

❸ ひょっとして大雨キューブ

局地的大雨の怖さや、一人一人ができる対策について解説している。

❷ 津波シミュレーター

津波を模型で発生させ、映像とともに津波のしくみが学べる。



災害ポイントウォッチャー



緊急地震速報トライアル



「ひょっとして大雨キューブ」



津波シミュレータ

所在地: 東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁 1F TEL: O3-3212-8341 開館時間: 10:00-16:00 入館料: 無料 休 館日:12月~5月の日曜・祝日(祝日が土曜の場合開館)・年 末年始 交通アクセス:東京メトロ東西線「竹橋駅」4番出口 から徒歩 1 分、東京メトロ千代田線、半蔵門線、丸ノ内線、都 営三田線「大手町駅」C2b 出口から徒歩5分 ホームページ: http://www.jma.go.jp/jma/kishou/intro/kagakukan.html

首都圏の災害を想定した体験が総合的に学べる

東京消防庁立川防災館





防災ミニシアター





応急救護訓練室



● 防災ミニシアター

もし首都直下に大地震がきたらということを想 定した映像を通して、備えと行動避難について

② 地震体験や煙体験

本物そっくりの震度7の揺れを体験できる。 煙体験室では、避難時の煙の特性や恐ろしさに ついて学べる。

❸ 応急救護訓練

突然の事故に備えて、正しい応急手当を学ぶため のコーナーで、AED の取扱い方法も勉強できる。

消火器を実際に活用した疑似体験を通して、消 火器の使用法が学べる。

所在地: 東京都立川市泉町 1156-1 TEL: 042-521-1119 開館時間: 9:00-17:00 入館料 : 無料 休館日: 木曜・第3金曜(祝日の場合は直後の平日)・年末年 始 交通アクセス: JR 中央線「立川駅」北口 1 番バス乗り場から、立川バス「立川 消防署」下車すぐ 多摩都市モノレール「高松駅」徒歩 15 分 ホームページ: http:// www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ttbskan/

。 模擬災害を体験しながら防災についてしっかり学ぶことができる

東京消防庁 本所防災館

所在地:墨田区横川 4-6-6 本所消防署内 TEL: 03-3621-0119 ホームページ: http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-hjbskan/

四谷三丁目駅から直結、徒歩0分。消防車やヘリにも乗れ、江戸時代からの消防の歴史を学ぶことができる

東京消防庁 消防博物館

所在地:新宿区四谷 3-10 四谷消防署内 TEL: 03-3353-9119 ホームページ: http://www.tfd.metro.tokyo.jp/ts/museum.html









も大丈夫。いざという時の対処法を学 ぶことができる

池袋駅から近く、一人でもグループで 所在地:東京都豊島区西池袋 2-37-8 TEL: 03-3590-6565 開館時間: 9:00-17:00 入館料: 無料 休館日 火曜・第3水曜(国民の祝日に当たる場合は翌日休業) 年末年始(12月28日~1月4日) 交通アクセス:池 袋駅(南口・西口・メトロポリタン口)から徒歩5分 ホー ムページ: http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ikbskan/



地震コーナー





図上訓練コーナー

● 地震コーナー

地震コーナーでは、長周期地震動による揺れや東日本大 震災の波形に基づく揺れを、煙コーナーでは、煙の性質 を学び、避難をする体験ができる。

② 救急コーナー

心肺蘇生法の体験ができ正しい応急処置を学べる。

救助・救出コーナー

消火コーナーでは、消火器の使用法を実際に体験して習得 できます。救助・救出コーナーでは、屋内や屋外での救助・ 救出方法を体験し、技術を身につけることができる。

② 図上訓練コーナー

地図に防災施設等の情報を書き込み、地域の防災力の 確認ができる(東京都内の町会・自主防災組織対象)。



所在地: 東京都北区西ヶ原 2-1-6 TEL: 03-3940-1811 開館時間: 9:00-17:00 入館料: 無料 休館 日:月曜(国民の祝日にあたる場合は翌日)・祝日(土曜 除く)・年末年始 交通アクセス:JR 京浜東北線「上中 里駅」から徒歩5分、東京メトロ南北線「西ヶ原駅」1 番出口から徒歩 5 分 ホームページ: http://www.city. kita.tokyo.jp/bosai/bosai-bohan/bosai/shobosho/ kagaku/

写真、復興模型や震災遺物などが展示されている。

東京都で最初にできた防災営発施設。防災に対 する正しい知識を身に付けることができる

東京都北区防災 センター (地震の科学館)

● 地震体験

起震装置を使って関東大震災、阪神・淡路大震災など の実際の揺れを体験することができる。

② 初期消火訓練・煙体験

小さな火のうちに消し止めることで、被害を最小限に食 い止められ、煙の性質を学び、避難訓練ができる。

モデル人形を使用し、AED (自動体外式除細動器)の 使用法など正しい応急処置を学べる。

4 その他の体験

AED を使用した心肺蘇生・三角巾・救出救護・簡単 なロープワークなどの体験ができる。



地震体験コ-



初期消火訓練・煙体験コーナ



防災クイズコーナー

東京都震災復興記念館

関東大震災の惨禍を永く後世に伝え、震災後に東京を復興させた当時の大事業を記念す るために東京都慰霊堂の付帯施設として建設された。震災被害資料、油絵、

所在地:東京都墨田区横網2-3-25 TEL:03-3622-1208(横網町公園事務所) 交通:JR 総武線「両国駅」下車・西口から徒歩 10 分/都営地下鉄大江戸線「両国駅」(江戸東京博物館前) 下車 A1 出口 徒歩2分 ホームページ: http://www.tokyoireikyoukai.or.jp/kinenkan.html





震災復興記念館

尉霊堂

江戸東京博物館

江戸東京400年の歴史と文化を展示している博物館。東京ゾーンでは関東大震災とその後の復興の様子を展示している。

所在地:東京都墨田区横網 1-4-1 東京都江戸東京博物館(TEL 03-3626-9974) 交通: JR 総武線「両国駅」西口下車 徒歩 3 分 / 都営 地下鉄大江戸線「両国駅」(江戸東京博物館前)A4 出口 徒歩1分 ホームページ:http://www.edo-tokyo-museum.or.jp/

東京都の防災対策を調べてみよう 🚳



平成24年(2012)11月東京都防災会議は、東京都地域防災計画を策定しました。 この計画は、都の被害想定や東日本大震災などの最近の大規模地震から得た教訓等を踏ま えて策定されたものです。これにより自助・共助・公助を実現し、都民の生命・身体及び 財産を保護するとともに都市の機能を維持することにより東京の防災力を向上し「首都東 京の防災力の高度化」を目指します。

【東京都地域防災計画の視点と対策】

都の被害想定(平成 24 年 4 月)

▶ 強い揺れや火災によって、重大な人的被害が発生

最大死者数 = 約 1 万人、最大避難者数 =339 万人、帰宅困難者数 = 約 517 万人など

▶ 都民のくらしと都市機能を支える住宅やライフライン等に大きな被害が発生

全壊棟数 = 約 30 万棟、ライフライン被害 = 断水率約 35%・停電率約 18%など

こうした被害を抑制するため、3つの視点で、具体的な目標をあげて対策を進めます

における対策と全体像

視点 1

自助・共助・公助を 束ねた地震に強い まちづくり

視点 2

都民の命と首都機能を 守る危機管理の 体制づくり

視点3

被災者の生活を支え、 東京を早期に再生する 仕組みづくり

- 都民と地域の防災力向上
- 安全な都市づくりの実現
- 交通ネットワーク・ライフライン等の確保
- 津波等対策
- 情報通信の確保
- 医療救護等対策
- 帰宅困難者対策
- 避難者対策
- 物流・備蓄・輸送対策の推進
- 放射性物質対策
- 住民の生活の早期再建

東京都の防災対策について、東京都のホームページなどでもっと詳しく調べてみましょう。

● 参考文献・資料 ●

参考図書 「あの日この日(一)」尾崎一雄 講談社文庫 「評解 小倉百人一首〈増訂版〉」京都書房 新日本古典文学体系「平家物語」「方丈記」 岩波書店 「ビジュアル版 幸せを運ぼう」「ビジュアル版 幸せを運ぼう」制作委員会 雑誌「近代消防」、近代消防計 平成 17 年~23 年 「平成 23 年度版 防災白書」 内関府

雑誌「近代消防」近代消防社 平成 17 年~ 23 年 「平成 23 年度版 防災白書」 内閣府 「言葉の力」猪瀬直樹 中公新書ラクレ 「理科年表」平成 24 年・机上版 国立天文台 丸善 「美しく愛しき日本」岡野弘彦 角川学芸出版

官公庁関係 「首都直下地震による東京の被害想定」東京都防災会議地震部会 「東京都地域防災計画」東京都防災会議 「みんなの防災ガイドブック」東京都 「東京都防災対応指針」東京都

「私たちの東京を地震から守ろう」東京都 「防災48」総務省消防庁 「東京都の防災対策の手引き~首都東京が直面する危機への備え」東京都

平成23年度版「地震と安全」東京都教育委員会「学校危機管理マニュアル」東京都教育委員会 高等学校「保健」補助教材「災害の発生と安全・健康~3.11を忘れない~」東京都教育委員会 「東京都及び区市町村教育委員会指導主事等による東日本大震災被災地視察研修報告書」東京都教育委員会

ホームページ 文部科学省「日本の地震活動」「地震発生のメカニズムを探る」 東京都「東京都防災ホームページ」 東京消防庁「東日本大震災関連ページ・救急アドバイス」 海上保安庁「東日本大震災関連ページ」 国土交通省「台風による被害ページ」 警視庁「東日本大震災関連ページ」 気象庁「気象科学館・台風被害・火山被害ページ・地震と津波 平成 21年3月」 北区防災センター「ホームページ」 内閣府「防災情報のページ」「稲むらの火の館」ホームページ

総務省消防庁ホームページ 警察庁「東日本大震災情報ページ」

監 修 東京大学名誉教授 阿部 勝征 危機管理教育研究所代表 国崎 信江

朝日新聞社 阿部和夫 (元宮城県石巻市教育委員会) 石巻日々新聞社 稲むらの火の館 制作協力 岩手県教育委員会 岩手県立高田高等学校 岩手県陸前高田市教育委員会 岩手県陸前高田市立横田中学校 岩波書店 江戸川区立船堀小学校 大島社会福祉協議会 大田区 海上保安庁 鎌倉市観光協会 気象庁気象科学館 気象庁東京管区気象台 北区防災センター地震の科学館 共同通信社 近代消防社 恵学社 警視庁 高徳院 講談社 神戸新聞社 国土交通省 国土交通省利根川上流事務所 小平市立小平第一中学校 澤井史郎(福島県いわき市立湯本第二中学校長) (紐陸前高田青年会議所 杉並区立杉並第七小学校 台東区立下町風俗資料館 台東区立中央図書館 中日新聞社東京新聞 筑波大学付属図書館 東海新報社 東京消防庁 東京都学校防災教育推進委員会 東京消防庁立川防災館 東京都江戸東京博物館 東京都震災復興記念館 東京都水道局 東京都総務局総合防災部 東京都立田無工業高等学校 東京都立武蔵高等学校附属中学校 内閣府 中野区 日本清涼飲料工業会 日本電報通信社 ニューヨークタイムズ社 広川町教育委員会 福島県いわき市教育委員会 福島県いわき市立豊間中学校 復興庁宮城復興局 文藝春秋社 防衛省 北淡震災記念公園 毎日新聞社 宮城県石巻市教育委員会 宮城県観光課 宮城県気仙沼市教育委員会 宫城県気仙沼市立条南中学校 宫城県名取市教育委員会 三宅村教育委員会 多摩市立東愛宕中学校 ※制作協力には図版・写真提供を含む。

なお、東京都教育委員会においては、次の者が本書の作成に当たった。

教育庁指導部指導企画課長 出張 吉訓

教育庁指導部主任指導主事 石田 周

教育庁指導部指導企画課統括指導主事 熊谷 恵子

教育庁指導部指導企画課課務担当係長 西脇 良和

教育庁指導部指導企画課指導主事 千葉かおり

所属は平成 25 年 3 月 31 日現在のものである。

〈平成 29 年度担当〉

教育庁指導部主任指導主事 藤江 敏郎 教育庁指導部指導企画課統括指導主事 大村 賢治 教育庁指導部指導企画課課長代理(課務担当) 会田 健太郎 教育庁指導部指導企画課指導主事 中村 伸也

防災教育補助教材

中学校版「3.11を忘れない」(平成 29 年度)

東京都教育委員会印刷物登録 平成 29 年度 第 49 号 (東京都教育委員会主要刊行物)

初版発行 平成 24 年 1 月 20 日 新版発行 平成 24 年 12 月 20 日 印 刷 平成 29 年 8 月 10 日

編集·発行 東京都教育庁指導部指導企画課

所 在 地 〒 163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

東京都庁第一本庁舎 38 階

電話番号 03-5320-6836 編集協力 宮嶋印刷株式会社 印 刷 宮嶋印刷株式会社 リサイクル適性®

この印刷物は、印刷用の紙へ リサイクルできます。

石油系溶剤を含まない インキを使用しています。

復興に向けて・・・

被災地から、東京都の中学生にメッセージをいただきました。

震災の翌日、街を見ました。津波で壊れた建物、打ち上げられた漁船 … あちらこちらでは白煙が上が、ています。買い物に行、た店も、友達と遊んだ公園も青くきれいな海岸も跡形もありませんでした。

そしてその日を境に私の生活は一変しました。水は出ない、電気はつかない、 がスは使えない・・・食べ物を買うために行列に並んだり、給水車から水を 運んだり、それでも工夫すれば生活できることを知りました。

全国からたくせんの支援をいただきました。自衛隊、東京消防庁、各県警から派遣された皆さん。がれきの撤去、消防活動、救助活動…ご自分を家族を残し、ふるさとを離れての任務でしょうに、いっもてきばきと過酷な仕事をこなしていら、しゃいました。そして、たくさん寄せられた支援物資。小学校の任学年でしょうか。ったかい文字で「がんばってね」「おうえんしてろよ」といったメッセージが綴られたものにはいが和みました。ボランティアとして足を遅んでくださった皆さん。住宅の泥をかき出したり、避難所の炊き出しをしてくださったり、一自分の家族を助けるかのように仕事をしてくださいました。

あれがらりか月、街は少しずつ片付き、避難所の人は仮設住宅に移り、だんだんいつもの生活が戻ってきました。それでも、むき出しの海岸線や朽ちた建物などは「あの日」の惨状を残したままです。私の好きなふるさと気仙沼は全国の皆さんの支援を石葉にきっと元気になります。いえ、私たち若い世代が元気にしてみせます。今は、「ありがとう」の言葉を返すしか術がありません。でも、誰がが支えてくれているというのは、本当に心強いものです。これからの気仙沼を見ていてください。

気仙沼市立 条南中学校 3年 及川 文音

たかた 新生高田!!



この作品のテーマは「新生高田!!」です。

あの3月 | |日に起こった震災で多くの人々が犠牲になり、家も車もすべてを津波によって流されました。私はあの日、高田高校で部活をしていて、第2グラウンドの方に避難しました。

津波を見た次の日、町には少数の建物しか残っていなくてあの町並みはもう見られないと思ったら信じられませんでした。あれから半年が経ち、今では前とほぼ変わらない生活を送っています。部活動でこの話を知り、自分の思っている絵を描きました。

私は絶対に海は描きたくて海を中心の上に。そして海の下にある線路は防波堤を 兼ね備えています。高田の町並みがあって、手前に見える時計台は市役所で高田の シンボルです。右側に見える青い屋根の建物は、高田高校です。そして、左側に見 える大きな観覧車は高田を一望できます。ここは高田の新しい名物スポットと考え ています。他にも博物館や図書館、遊ぶ場所、買い物できる場所を設けました。

復興が進んでこんな風になったらいいなと思いながら描きました。

岩手県立高田高等学校 | 年 西槙 美紀

今の福島が本当に大好きです

私たちは、あの3月 | | 日の大震災から、全てが変わってしまって、今、藤間中学校に間借りして勉強しています。豊間中学校の校舎は、| 階が津波で流されてしまっていて、いつ、豊間中にもどれるのか分かりません。早く豊間中学校にもどりたいです。部活動では、月曜日と金曜日は藤間中の体育館を使わせていただいています。本当に藤間中学校には、感謝しています。

また、今まで支援してくださったみなさんにも本当に感謝しています。私たちは、 みなさんの支援のおかげでとても元気になりました。これからの事は、分かりません が、私たちは、これからもずっと元気でいたいし、早く、復旧・復興して、早く3月 | | 日以前よりも良い福島にしていきたいです。私は、今の福島が本当に大好きです。

平成23年10月 福島県いわき市立豊間中学校 1年 鈴木 里歩



東京都教育委員会

 立
 学校

 2年 組 番 氏名

 3年 組 番